

## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立岡山操山高等学校		
実践者等	遠藤 摂夫	実践日	令和3年9月24日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語・古文		
対象生徒(学年等)	普通科1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	歌の心を見つけようーJ-popと『百人一首』のコラボ		
使用したアプリ等	Jamboard、スライド、YouTube、Forms		
実践の概要(ねらい等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集、発表準備、発表、相互評価、単元のまとめまでを1人1台端末を活用して効率的に実施する。</li> <li>・発表準備を共同編集機能を活用し、協働的に取り組む。</li> </ul>		
<b>実践の内容</b>			
(前時まで)			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 J-popの歌詞の解釈の基本と百人一首を組み合わせる着眼点を知らせ、課題曲と百人一首のコラボ案を個人で考え、Classroomに提出。</li> <li>2 班で発表する課題曲と百人一首のコラボ案を決定し、Jamboardに提出。 (模範例)「長い夜」(松山千春)と「長々し夜」(3番 柿本人麻呂)</li> <li>3 便覧や自己資料、Classroom上の参考資料等を参照して発表スライドを作成。</li> <li>4 スライドや発表原稿の作成は、班で共同編集機能を活用することで協働的に学び合う学習を実現。</li> </ol>			
(本時)			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各班の発表(7分×4班) <ul style="list-style-type: none"> <li>・班ごとにChromebookからスライドをミラーリングして拡大提示しながら発表する。</li> <li>・発表は次のような模範例(スライド)を提示している。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① J-popの紹介</li> <li>② 百人一首の紹介</li> <li>③ 作者からの一言(古文調)</li> <li>④ 歌の心Ⅰ(歌詞の解釈)</li> <li>⑤ 歌の心Ⅱ(百人一首の解釈)</li> <li>⑥ 歌の心Ⅲ(コラボの理由)</li> </ol> </li> </ul> </li> </ol>			
○生徒が考えたコラボ(本時分)			
<p>平井堅「ノンフィクション」&amp;百人一首「いまひとたびの逢ふこともがな」(56番)</p> <p>あいみょん「裸の心」&amp;百人一首「人知れずこそ思ひそめしか」(41番)</p> <p>優里「ドライフラワー」&amp;百人一首「嘆けとて月やはものを思はする」(86番)</p> <p>あいみょん「裸の心」&amp;百人一首「行方も知らぬ恋の道かな」(46番)</p>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>2 相互評価 1班の発表が終わるごとに、あらかじめ準備したFormsを入力する。(評価及び意見等)(2分)</li> <li>3 単元のまとめ Formsの問いに答える。(活動を楽しめたか・印象に残った発表・百人一首に親しみを持てたか等)</li> </ol>			
参考となるHP等	Uta-net 『百人一首入門』(幻冬舎) 『百人一首解剖図鑑』		



※本授業は、1人1台端末活用推進事業における公開授業で実施されたものです。